町民の暮らしを守る消防団 明日を目指し前に進む

松尾 憲親さん
Matsuo Norichika

〔緑町区〕

まつお のりちか / 町消防団長。団員の人材育成や連絡方法など防災体制の改革を目指す。消防団員約500人の指揮を執り、町民の安全を守る。

「熊本地震で団員が経験したこと感じたことを共有し、将来にわたって住民の皆さんが安全・安心に暮らせる支援をしていきたい」と話すのは、町消防団長の松尾憲親さん〔緑町区〕。

今回の震災では、「団員には、夜間のパトロールや地域での支援活動など負担を掛けることが多くありました」と一住民でもある団員を思う松尾団長。「でもそのおかげで震災に関わる犯罪も発生することなく、住民の皆さんから感謝していただいたことが団員のやりがいにもつながりました」と笑顔で振り返る。

昨年4月から団長として本町の安全・安心を守るために活動する消防団員を束ね、防災活動に尽力。部長研修など団員の人材育成の強化や連絡手段の効率化を図り、防災体制の充実に取り組んでいる。

団長自ら過去10年の火災データ分析を行い、火災発生が最も多い日曜の午後2時以降に防災行政無線での注意喚起を実施。住宅火災の件数も減ったという。松尾団長は「新しいことに積極的に取り組み、住民の皆さんのために消防団をいかに効率良く動かせるか考えることが私の今の責務です」と語る。

人的被害が少なかったことも、町民1人ひとりの防災意識が高かったと評価する松尾団長は、「町消防団が駆けつけるには時間が掛かる場合もあります。防災力強化には、即戦力となる自主防災組織や地域住民の力が必要不可欠です」と自主防災組織と町消防団の密な連携を目指す。

「これから台風が多く発生しますし、地震も水害もいつやってくるか分かりません。住民の皆さんには、自身の命を守ることを常に胸に留めて備えや行動をしてほしい」と松尾団長。「町消防団も今回の震災を教訓に、町最大の防災の要として住民の暮らしを守り続けます」と本町の明るい未来を見つめる。

広報 こうさ

2016年（平成28年）7月号
通巻564号

発行・甲佐町　発行人・甲佐町長 奥名克美　編集・企画課　住所・〒861-4696 熊本県上益城郡甲佐町大字豊内719番地4　TEL096-234-1154
URL・http://www.town.kosa.kumamoto.jp/　E-mail・klg104@town.kosa.lg.jp　※本紙は再生紙を使用しています。